

第2回 横浜市泉公会堂指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和4年8月1日(月) 10時00分～11時50分
開催場所	横浜市泉区役所 4AB会議室
出席者	松本委員長、宇夫方委員、久我委員、小泉委員、小林委員
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(審査以降)(傍聴者2人)
議題	横浜市泉公会堂の指定候補者の選定について (応募団体の面接審査、総括審査)
決定事項	1 指定候補者を相鉄企業株式会社とする。
審議内容	<p>1 開会 委員長から、委員全員が出席していることから、横浜市泉公会堂指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により委員会が成立していることの報告があった。</p> <p>2 事務局説明 事務局から、次のとおり説明を行った。</p> <p>(1) 委員会の公開・非公開 第1回選定委員会で決定したとおり、応募団体のプレゼンテーション及び質疑応答までを公開、審査以降を非公開とする。</p> <p>(2) 本日の委員会の流れ 面接審査、休憩、総括審査の順に行う。</p> <p>(3) 応募団体について 応募団体は1団体であったため、団体名は伏せずにプレゼンテーションを行う。時間はプレゼンテーション20分、質疑応答20分、審査10分とする。 なお、応募団体は公募要項に定める欠格事項に関する調査結果については非該当であった。</p> <p>3 面接審査</p> <p>(1) 団体プレゼンテーション</p> <p>(2) 質疑応答 (委員) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、公会堂の利用者も減り、公会堂の収支は赤字になる状況にあったかと思うが、その赤字分については本社から補填されたのか。 (団体) その赤字分については、横浜市からの補填金で対応した。 (委員) フリースペースを貸し出すのは良いアイデアだと思う。なお、Wi-Fiが利用できると若者にとって魅力的かと思うが、無線LANの設備はあるか。 (団体) 現在ホワイエでは、機器を設置しており、Wi-Fiが利用できるようになっている。 (委員) 高齢者や障がいのある方、マイノリティの方々に対する対応はどのように考えているのか。 (団体) 障がいのある方に対しては、現館長が介護に関する資格を保持</p>

しており、困っている方に対して適切な対応に努めていく。またLGBTQ等に関しても配慮を行っていくものとし、スタッフに対し必要な教育を実施していく。

(委員) 地域活動を重視してもらえるとと思っているが、できるだけ外へ出ていくような形で打合せをすとか、地域活動がやりやすくなるような工夫は何かあるか。

(団体) 当社は泉区民文化センターの運営も行っており、区民文化センターは文化を発信する拠点であると認識している。その区民文化センターと今後連携して自主事業をやっていこうと考えており、その点で外への発信に繋がっているのではないかと考えている。

(委員) 泉区には横浜いずみ歌舞伎があり、非常に大事にしているものであるが、ホールの利用において舞台稽古などの機会を増やせるようなシステムを作ってもらえると良い。

(団体) 日頃、泉公会堂の運営にあたり、横浜いずみ歌舞伎の方や同じく泉区の伝統文化のお囃子の方々とは深い繋がりを築いてきており、今後もコミュニケーションを取り合いながら、そのような取組が実施できるか検討していきたい。

(委員) 「中和田いずみの歌」を見たが、ミュージックビデオの映像もとても面白い。完成ということで一回きりで終わらせずに継続して地域の皆様に浸透を図っていくことが良いと思うが何か方策はあるか。

(団体) 「中和田いずみの歌」を作るにあたって発端は、泉公会堂のSNSで交流してきた横浜市の方々、「Yocco18」の方々との繋がりによって生まれたもので、今後もSNSを活用して新しい取組を行っていきたいと思っている。歌を広げるにあたっては地域のお祭り、弥生台駅前での「やよい祭」で、デジタルサイネージを設置して歌を流して区民の方々への周知を図ったが、今後も地域のお祭りなどそのような取組を行っていきたいと思っている。

(委員) 渋谷のヒカリエの中の劇場は、座席にしても車椅子の方に対する配慮においても理想的と思える。泉公会堂のメインは劇場であり、そのような劇場の素晴らしいところを取り入れてほしい。

(団体) 他の館の良いところをなるべく取り入れるような形で今後運営していきたいと思っている。

(委員) 施設で働いている方で、障がいのある方、マイノリティの方はいるのか。

(団体) 社内では各現場にいるが、泉公会堂にはいない。

(委員) 現在働いているスタッフの男女比はどれくらいか。

(団体) 男性4名、女性5名で半々ほどとなっている。

(委員) 障害のある方、マイノリティの方がフルタイムではなくても少なからず施設の運営に実際に関わり、その方々の視点で点検していただき、問題点があれば改善していくということが大事かと思う。

(委員) 達成目標を4つ挙げているが、これは達成目標ではなくて達成

手段だと思う。「にぎわい」というところでは認知度向上というのがあったが、実際にどれくらい認知されていて、どれくらい認知度を上げたいのか。稼働率ということであれば、今はコロナで特殊な状況かと思うが、稼働率をどこまで上げるというのが目標だと思う。

(団体) 稼働率では、コロナの前の2019年の稼働率と同程度かそれ以上を目標としている。

(委員) コロナの前の稼働率はどれくらいか。

(団体) 6割程度となっている。

基本方針として「泉区民の絆がひろがる場所」というのを掲げており、活動を広げて稼働率を上げていきたいと思っている。また、認知度に関しては達成目標に「広報活動の強化」を掲げており、SNSのフォロワーを増やすなどの目標を設定し、今後も取組を進めていきたいと思っている。

(委員) 研修はたくさん挙げていたが、全員が一年間で全ての研修を受けるのか。

(団体) 全ての研修を全員が受講する。

(委員) 連携、つながりというところでは、地域の団体との連携が大事であり、これまで関わっていない様々な団体があるかと思う。

直接の施設の利用の増加に繋がらなくても地域を作っていくという意味では大事かと思うので、新たな連携の取組として何かあるか。

(団体) 地域の様々な方と繋がるために、泉区が実施している取組、例えばスタンプラリーなどに参加し、そこに参加している団体に声をかけさせていただき、連携を図っていくことを考えている。

(委員) 地域の防犯、防災など地域の課題を話し合う場にできるだけ伺って、施設なりスタッフの方々が地域に積極的に関わってもらえたらいいと思う。

(団体) 防災に関する地域の関わりでは、泉消防署との関わりが深く、自主事業として消防音楽隊による避難訓練コンサートを行い、地域の方々に防災意識を促す取組をしている。現在公会堂では、受付など地域の方々に気軽に来ていただき、相談できるような環境は整えているともものと自負している。

(委員) 泉区は横浜市18区の中でどのような特徴があり、それをどう生かしていくべきと考えるか。

(団体) 泉区は緑が多く、畑の面積も18区で1番であり、自然を生かした取組を今後行っていきたいと思っている。課題としては転入者が増えていないことがあるかと思うので、転入者を増やすための施策を一緒に考えていけたらと思っている。泉区が掲げている「住むなら泉区」というキーワードを当方の広報でも使っているが、今後も広報を続けていくのはもちろんのこと、転入してきた方と現在住んでいる方との交流の場を作ることも今後の転入者を増やしていく取組として重要であり、泉公会堂としても考えていきたいと思っている。

	<p>(3) 審査 宇夫方委員から、応募団体は健全な財務状況である旨報告があった。 応募書類及び面接審査に基づき、評価基準項目に従い、各委員が採点を行った。</p> <p>4 総括審査 「相鉄企業株式会社」が、出席委員5名の合計点で773点/900点を獲得した。加減点項目を除いた合計点は758点となり、最低基準点の510点以上を満たしていることから、同団体を指定候補者に選定した。</p> <p>5 泉区長への報告 選定結果報告書を作成し、泉区長へ提出する。</p>
<p>資料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料 (1) 第2回横浜市泉公会堂指定管理者選定委員会次第 (2) 横浜市泉公会堂指定管理者選定委員会 評点表 (3) 応募団体の市税納付状況の照会結果 (4) 応募団体の暴力団排除条例に関わる照会結果 (5) 横浜市泉公会堂 平成29年度選定結果報告書 (6) 横浜市泉公会堂指定管理者公募要項等 (7) 指定管理者公募要項等に関する質問・回答</p> <p>2 特記事項 なし</p>